



いのち輝くコンサート

6月21日(金)に市内各所で活躍されている「ミカエル4(カルテット)」の皆さんをお呼びして、本校吹奏楽部との共演を交えながら演奏をしていただきました。全校生徒をはじめ保護者の皆様や地域の皆様にもご来校いただき、約1時間の演奏を楽しみました。

実は、「ミカエル4」でドラムを担当していた佐々木さんは私の幼なじみです。小学校、中学校と同級生で、小さい頃から音楽が大好きでした。現在は音楽を職業にはしていませんが、市内各所で演奏活動を行っています。今年のお正月に開催した中学校の同窓会で会ったときに、その話を佐々木さんから聞き、それならば本校で「いのち」をテーマにした演奏をしてくれないかをお願いしたところ、即決してくれました(少しお酒が入っていました(笑))。そして、佐々木さんの方からは、可能ならば吹奏楽部との共演ができれば、という話があり、顧問の先生に伝えたとこ早く引き受けていただき、今回の演奏会が実現しました。

今回のコンサートを通して、一人でも多くの方が、心が軽くなったり感動したり、楽しい気分や笑顔になってくれたら、コンサートを計画した私としてはとてもうれしく思います。生徒の皆さん、「いのち輝くコンサート」はいかがでしたか?

校長のひと一言⑧

先日、在外教育派遣教諭としてシンガポールの日本人学校に勤務している大川健先生から電話をいただきました。所用で一時帰国したそうです。大川先生は昨年度まで3年間本校に勤務していました(現在も所属は本校です)。日本人学校勤務とはいえ、文化も言葉も違う異国で生活するのは大変なことです。意外だったのは、食事があまりおいしくない(本人の口に合わないだけかもしれませんが)と言っていました。物価も高いので外食は控えて、家で食事を摂ることが多いそうです。

私は30代半ばの頃、「日米交流若手教員派遣」という当時の文部省の事業で、3か月間アメリカへ研修に行く機会をいただきました(詳細は、昨年度の学校だよりに書きました)。当時、日本にいる教え子たちに私の近況を伝える術(すべ)は、メールしかありませんでした。私は学級担任をしていたので、現地で学級通信を書いて、メールで所属校へ送っていたものです。今は、SNSなどで世界中どこでもつながることができます。そして、ホームページは世界中どこからでも見ることができます。大川先生は本校のホームページをよくご覧になっているとのことでした。恐らくこの学校だよりもご覧になっているのではないのでしょうか。

今、この学校だよりを読みながらニヤニヤしている大川先生! そうあなたです。異国で大変なこともあると思いますが、健康に留意して頑張ってくださいね。そして、シンガポールの日本人学校の子供たちには、大野中学校でのたくさんの思い出や経験したことを伝えてください。帰国したら日本人学校で学んだことを目の前にいる子供たち還元してください。ガンバレ大川先生! フレーフレー大川先生!